

令和4年6月18日

北関東フォーラム

於：シムックス

## 中斎塾 北関東フォーラム

### 令和4年度 第6回

おはようございます。

前々回、梅川理事から戴いたハガキをご紹介しました。論語の「七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず」の後に、ご自分で「八十にして輝く、九十にして成る」と加えたということで、「輝く」は「性 相近し、習 相遠し」から、「成る」は「歳寒くして、然る後に松柏の凋むに後るるを知る」から考えたということでした。後ほど梅川さんにその辺りの話をして戴きたいと思います。

やはり何かを考える時は、自分なりの仮説を立てて、それを検証するという流れが欠かせないものだと思います。梅川さんはご自分で答えを見つけられた。しかも「輝く」と「成る」をとったというのは、とても良い着眼点だと思いました。ちなみに輝く人とは、心の中から輝く人と、お化粧をして見た目だけ輝く人と二通りあるようです。出来れば心の中を磨いて、その輝きが内から外へ表れてくるような輝き方がよろしいですね。

もう一つご紹介するのは、今泉会員から毎月戴いている「経営情報」という小冊子の中に良い事が書いてありました。「人間生きていれば誰でも勝負の時がある。大事なのは、その瞬間に気がつくかどうかである」という言葉です。

すぐに頭に浮かんだのは、中島敦の書いた「名人伝」です。弓の名人が仙人に弟子入ります。修行の中で、山の頂上にあるグラグラした岩の上に立って、平常心で弓を射るという場面があります。足場がグラグラしているから、鳥が飛んできて今がチャンスだと思っても矢を放つことが出来ない。そういう状況が浮かびました。

それから、「女神の後ろ髪はない」という言葉が浮かびました。チャンスを運んでくる女神に気がついて、行き過ぎてしまえば、女神の後ろ髪はないから掴むことが出来ない。つまり、気がついた瞬間に動け！ ということです。

ちなみに、私がただ一人師匠と呼ばせて戴いたのは木内信胤先生です。初めて先生の講演会に行った時のことです。話を聞いて、“素晴らしい、この先生は本物だ”と思いました。講演が終わった後、無意識に立ち上がって、ふらふらと先生の前に行き、弟子にして下さいとお願いしていました。

もう御一人、私が教えて下さいとお願いした先生は坂本坦道先生です。木内信胤先生が亡くなられた後、信胤先生を偲ぶ集りがあり、そこで坦道先生が主催者から要請されて詩吟を披露されました。私は詩吟を覚えたいと思っていたところでしたので、その場で詩吟を教えて下さいとお願いして、鉄砲洲の教室をご紹介戴きました。

両先生が女神だったとしたら、私は女神の前に立って掴まえてしまったというわけです。人生、これがチャンスだと思ふことが必ずどこかにあります。その時に手を伸ばしてチャンスを掴む努力をする、これが絶対に必要です。

## 戦争

では、論語に参ります。今月から北関東フォーラムの論語は、テーマを決めてそれに沿って論語を選んで解説を致します。今の時代ですから「戦争」をテーマに致しました。

レジュメに書いた論語の中には、「戦」という文字が入っておりませんでした。述而篇に「齊・戦・疾」という言葉がありますので、加えて解説致します。

戦・・・子の慎む所は、齊・戦・疾なり。（述而第七・12）

孔子が考えるのに、人にとって大事なことは、齊・戦・疾である。

「齊」は物忌み、神様に誠を尽す、祭政一致という考え方で見ます。神様とどう向き合うかとお考え下さい。

「戦」は国家の存亡、国民の死生を決する所とお考え下さい。

「疾」は病です。病にかかって生きるか死ぬか、自分の死生を決する時とお考え下さい。今で考えればこのウィルスは自分の命を取るのかどうか、そういう突き詰めた見方をするとよろしいでしょう。

論語の中で「戦争」というテーマで見た時に具体的に出てくる言葉が、次の棄・虐・暴・賊です。

棄・・・子曰く、教えざる民を以て戦うは、是れ之を棄つと謂う。（子路篇・30）

虐・・・子曰く、教えずして殺す、之を虐と謂う。（堯曰篇・2）

暴・・・戒めずして成るを視る、之を暴と謂う。（堯曰篇・2）

賊・・・令を慢にして期を致す、之を賊と謂う。（堯曰篇・2）

教えざる民を以て戦うは、是れ之を棄つと謂う・・・ロシアでは学生たちが突然戦場に

行けと言われ兵士として送られたという報道がありました。戦い方を何も教えないで戦場に出した結果、何万人もの兵士が死んでいるようです。これは、いくらでも代わりがいるから「棄てた」ということではないかと思っています。

一方のウクライナでは、アメリカから対艦ミサイル等の新型の武器が供与されています。もともとウクライナが持っている武器は旧ソ連が作ったものがほとんどです。欧米から供与される武器は初めて扱うわけだから、まともに使えないだろうと思います。使い方を少し教えて武器を預けても、結局は無駄に棄てていることになる。

つまり、ロシアもウクライナも同じことが言えると思っています。

**教えずして殺す、之を虐と謂う**・・・メディアでは残虐とか残酷という言葉を使っていますが、今のロシアとウクライナの戦争では、武器の扱い方を教えないで戦わせている状況があると感じます。撃った後、どのように自分の身を守るかも教えず、戦いに参加させている。これは民を棄てるのと殺すのと同じ線上にあるわけです。まともな戦争ではないと感じています。

**戒めずして成るを視る、之を暴と謂う。令を慢にして期を致す、之を賊と謂う**・・・予告をしないで、急に成果を求める。命令もダラダラ出して、成果が上がらなければ文句をつける。武器の扱い方も教えないで、成果が上がらないから罰則を出す。

棄・虐・暴・賊は、皆同一線上のことと捉えてよいでしょう。

「戦争」というテーマを選んだ理由はロシア・ウクライナ間に戦争があると捉えているからですが、同時に日本が戦争に巻き込まれはしないかという懸念・不安があるからです。日本では嘗て、徴兵制度がありました。世界を見ると、現在でも徴兵制度がある国があります。ウクライナでは50代でも徴兵されるようです。日本でも徴兵制度がそのうち復活するようになると思っています。そうなった場合は、10代後半から50代まで視野に入るでしょうし、女性も何らかの形で戦争に協力せざるを得ない状況が来るとしています。なぜなら、嘗て通った道だから、また同じ事をします。女性が竹やりを持って訓練させられ、男性は玉の出ない鉄砲で銃撃訓練をさせられた時代がありました。嘗て通った道を見る必要があると思って下さい。

### ロシア・ウクライナ戦争とは

今回のロシア・ウクライナ戦争は、意識してロシアが仕掛けた結果戦争が起きたのか、

それとも自然と流れが出来て戦争が始まったのか、皆さんはどう思われますか。私が見る限り、ロシアはアメリカと戦争を始めたつもりでいると感じます。それはなぜか・・・。

コロナが始まった時に、私は不可解ということを申しました。納得出来ないで調べたきっかけが「副反応」という言葉でした。副反応について調べた結果、＜政府は信用出来ない。したがって、私はコロナワクチンは打たない＞と決めました。

同じく、この戦争でも不可解と思う事がいくつもあります。一つは、情報が日本に溢れているけれども、何故ウクライナの情報ばかりが流れるのかということです。

それから、ロシアがウクライナに侵攻を始めた日が2月24日ですが、その2日後の26日にはアメリカが同盟国等と話し合いをして、33ヶ国の中央銀行が一斉にロシアの金融資産を差し押さえました。この情報は最初わずかに出ただけで、詳しい話は全然伝わって来ません。2日間でそんな芸当が出来ますか？ 相当前から準備していなければ出来るわけがない。これが二つ目の不可解です。

三つ目の不可解は、昨日の大野参与が言っておられましたが、アメリカはロシアがウクライナに侵攻する前日の23日に1兆8000億ドルをSWIFTを使ってロシアに送金したという話があります。これは真相がまるで分かりません。どなたか御承知の方がおられたら、教えて戴きたいと思っています。

### 世界の覇権の行方 - 金（ゴールド）と核

先ほど、「嘗て通った道だから、また同じことになるだろう」と申しました。昨日の大野参与との話の中で、第一次世界大戦から第二次世界大戦が始まるまでの状況が現在に似ているという話がありました。良い視点だと思いましたので、ご紹介します。

1914年～1918年に第一次世界大戦がありました。その後、1918年～1921年にスペイン風邪が世界的に流行し、日本でも相当の人が亡くなりました。今はコロナウィルスが世界に蔓延しています。1923年には関東大震災が起きて、これまた多くの人々が亡くなりました。日本でも東日本大震災があり、近い将来首都直下型地震も懸念されています。その後、1929年に世界大恐慌があって、1945年に第二次世界大戦が起きました。第一次世界大戦から第二次世界大戦までは、僅か20年くらいしか経っていません。

そう考えると、本来なら第二次世界大戦が終わって20年か30年くらいで第三次世界大戦が起きてもおかしくないはずですが。それが起きないで来たという事は、アメリカの力が強くなりすぎて他が抑え込まれたと見えます。しかし、今やアメリカの力は失われましたから、どこが現時点で変わって来ているか嘗て通った道をなぞりながら考えると、ポイントはゴールドだと思います。アメリカが途中で金本位制度をやめたから、その辺りから急

激に変わって来たと思っています。

ゴールドに視点をあてて見れば、今、急激にゴールドを買い込んでいるのは中国とロシアです。中国もロシアも覇権を狙って、そのためにゴールドの抑えが必要です。ロシアは今回の戦争の少し前から、ルーブルでゴールドを買い込むと宣言して、かなり買い込んでいます。中国もロシアより早めにゴールドを買い込んでいました。今、世界各国はデジタル法定通貨を発行しようと考えているわけですが、そのためにはゴールドの裏付けが要る。そういう感覚で中国はゴールドを買い込んだのだと考えます。これは金本位制度の復活になります。ロシアは自分の財産を没収されたことによって、ルーブルを活かさなければならぬので、そのための裏付けとしてゴールドを買い込んでいると考えます。

結果として今は、中国とロシアが頭抜けてゴールドを抱えています。中国、ロシア、そして本来の覇権国であるアメリカ、これらの力の移り変わりは、ゴールドをどの程度保有するかになるだろうと思っています。私がこれから調べようと思っているのは、ゴールドが世界全体でどれくらいあるのか、毎年どれくらい算出されるのか、現時点でゴールドを保有する国のベスト10は何処か、それからゴールドの値段がここ10年でどのように変遷したか・・・これらはすべて、次の世界の命運を握る国家がどこか焦点が当てられる大きな要素になるとと思っています。

ちなみに最近の仮想通貨や暗号資産は、ゴールドの裏付けがあるものに需要が高まっています。ですから今はゴールドの値段が乱高下していますが、またもう一段上がっていくと思います。それは各国家が欲するからです。

では、ゴールドを握る（財政的な裏付けが出来る）、それから軍事力を握る（旧来型の武器弾薬+核攻撃が出来る能力を持つ）国家はどれだけあるのか。世界の覇権は、ゴールドと核がキーになってくると見えます。それに人口が多いということもプラスして考えねばなりません。そうすると、インドが加わって来ます。今回の戦争でインドは、欧米にもロシアにもつかず離れずのスタンスを取り続けています。ですから、インドを巻き込んだ方が相当強くなると見えます。

### これから日本はどうなるか？

これから日本で何が起きるのか考えてみます。政府は今、どんどんお金をばら撒いていますが、不思議に思いませんか？ 大丈夫な訳がありませんね。どこかで帳尻を合わせなければいけません。

ここからは私が見た夢の話です。・・・政府の高官がこんなことを言っていました。「国債をどんどん刷って借金を増やしても、目先がしのげれば良い。国民がばら撒いてくれと

言うからば撒いているだけで、目先の選挙に勝てば当面は良いのだ。これがどんどん進んでいけば、デフォルトになるのは仕方がないだろう。政府が努力したことを国民も分かっているだろうから、やるだけやったのだから仕方がないと諦めてくれるだろう」・・・私のみた夢ですが、そういう言い訳が今の政府から透けて見えます。

その理由を申します。昭和 21 年 2 月 17 日に緊急金融措置令が出ました。その 2 日ほど前に、農林水産省から大蔵省の文書課長である愛知揆一さんに「今は買いだめと売り惜しみが酷くなってきているので、警察に買いだめの人々に対し動いて貰うことにした。ついでは大蔵省も協力をして欲しい」という申し入れがあり、緊急に密議が開かれました。その時のメンバーは、主税局長が池田隼人、官房長が福田赳夫、事務次官が山際正道、物価部長が工藤昭四郎、終戦連絡部長が木内信胤です。結果として、買いだめをする人間からお金を取り上げるために現行の紙幣を無効にすればよいと決まりました。2 月 16 日に正式に決定し、翌日 17 日に新聞発表し即日実行しました。

その内容は、まず預金封鎖をし、その上で「今持っているお金は使えなくなりました。新円に切り換えるので全部銀行に預けて下さい」と、タンス預金を強制的に銀行に預けさせました。そして新円を発行し、一家庭で下ろせるお金は 500 円迄と制限をかけました。

更に、所有している財産をすべて申告させ、金額に合わせて 25%から富裕層は 90%もの税金をかけました。それによって税収が沢山国庫に入ったわけです。

結果としてインフレが発生し、ハイパーインフレになりました。その時の記録では、物価は 100 倍に上がりました。食べ物が手に入りませんから、戦後の闇市に繋がります。農家へ食料を買いに行ってもお金では売ってくれないので、貴金属や着物等で交換してもらおう。農家の箆笥はいっぱいになったと聞きます。

私は以前から、同じ事が起きると言い続けています。おそらく渋澤栄一が新札で登場する時が大きな岐路になると思っています。

日本の場合は戦後のハイパーインフレの時、物価上昇が 100 倍を超えました。他の国ではどうだったか。ロシアは 7000%、アルゼンチンは 5000%のインフレです。20 年近く前、私は経済破綻を起こした国々を回り自分の眼で見て、聞いて来ました。その時の感想を「ロシア・アルゼンチン・トルコの経済破綻視察」と題して日本民俗経済学会発行の書籍に共著として載せたものを、季刊誌「知足」の 60・61 号に掲載しています。

ちなみに、経済破綻を起こした国は皆、政治家が賄賂を取り過ぎていました。その結果政治の仕組みが腐敗して、国民が愛想を尽かしたわけです。日本の場合、政治は他の国々ほど腐敗していませんし、賄賂もそれほど滅茶苦茶な賄賂をとっていませんから、いっぺ

んに破綻を起こす事はないと思っています。ただ、道徳的に叩かれる人が増え過ぎました。腐敗の仕方が、違う形でかなり進行していると思っています

それらを踏まえて申し上げると、日本の今度の物価の上がり方は100倍では終わらないと思っています。そうすると、やらねばならない事は、自分で自給自足する道を作る、等価交換をするだけの価値のあるものを手に入れておく、自分達が避難出来るように相互支援体制を作っておく・・・これらは何度も申し上げています。

今回は、それに加えてウィルス対策も考えなければなりませんし、大地震についても考えておく必要があります。

それから、世界各国が金利を上げています。日本は上げないと頑張っています。なぜだと思いませんか？

(田島監事) 金利を上げると国債の金利も上がるので、日銀が債務超過になる。

正解ですね。金利が上がった行く末は、国債はどうにもならない状況になる。日本の国の経済を司っている日銀が、自分で自分の首を絞めているわけです。結果として、国が潰れます。ですから金利を上げるわけにはいかないのです。経済はもともと経世済民、つまり世を救わなければならないわけですが、今の経済は世を破壊しています。

先ほどお話した私の夢に出て来た政府の高官の台詞です。・・・「国を潰すわけにはいかない。それよりは、中小零細企業が何十万社潰れても構わないだろう」・・・これは何ら根拠があるわけではありませんが、単に夢の中での私の実感です。

仮に金利を上げたとしたらどうなるでしょうか。今、1%以下の金利で借金をしている中小零細企業が沢山あると思います。日銀は、金利を2%上げたら国にとんでもない影響が起きると言っています。先日の日経新聞に「アメリカFRBは3%の利上げを計画している。実質的には3.8%を想定している」とありました。アメリカ並みに3%上げたら、日本はパンザイですよ。1%の金利が3倍になったとしたら中小零細企業は払えますか？ 10%にしますと言われたら、どうなりますか？ 少なくとも30万社とか50万社の中小企業は潰れるでしょう。ですから、相当な痛みをもって今度の渋澤栄一の1万円札を迎えねばならないということになります。

自分自身の目の前で見れば、経営者や個人の住宅ローンを抱えている方は金利がいくら上がるか、固定金利か変動金利かを調べておく必要があるでしょうし、金利の上昇がどこまで耐えられるか、自分自身と会社の耐久力を予測しておく必要があります。

ウィルスについて、もう少し付け加えます。先月、大野参与が講演会で話されたことを

申します。現在はオミクロン株が広がっていますが、来年の末にはオメガが流行ると言っておられました。オメガはギリシャ語のアルファベットの24番目、最後の文字です。ちなみにオミクロンは15番目です。今年から来年の間で変異株はどんどん増えていき、一気にオメガまで行ってしまうと踏んでおられるようです。但し、広がるウィルスは弱毒性です。オメガの先は分かりません。ウィルスに関してはもう、神頼みになって来ているような感じがします。

いずれにしてもウィルス戦争はずっと続いていくと思って下さい。渋澤栄一の1万円札が出るのは、再来年の4月～9月と公表されています。その頃にはウィルスもまた、一化けするのではないかと考えています。悪い事は重なりますから、首都直下型地震もその間に起きるのではないかと感じています。自分の住んでいる所はどうか、再確認しておく必要がありますね。

最後に戦争について申します。戦争に対する準備は当然しておかねばならないと思います。向こう10年くらいの間で世界を巻き込むような戦争が起きるかな…くらいで考えておくとうろしいでしょう。それがある程度見えたら、5年後くらいの間にもしかするとあるかな…と考える。台湾で戦争が起きた場合、日本が巻き込まれないわけがない。5年後に中国が台湾に侵攻することを想定できる方は、再来年の渋澤栄一の1万円札が出る頃までに起きると踏んで、先ほど申し上げたことを予測し、対策を練っておくことが必要だと思います。

### 恒例の質問

恒例の質問をさらっとお聞きします。

- このところ、良い日が続いていると思う方
- このところ、嘘はついていないし、あまりつかれてもいないと思う方
- このところ、有難うと言ひ、よく有難うと言われていると思う方
- このところ、身体の手入れをよくやっている方
- このところ、自分磨きもよくやっている方
- 昨晚寝る時、明日は<良い日だったな>と思って寝た方

手が挙がる方が増えました。大変結構だと思います。実のところ私は、昨夜寝る時は考える事が出来ないほど疲れていたもので、<明日の予定は全部きちんと消化できた。良かった、良かった>と思って寝ました。中身を考える余裕がありませんでした。やはり睡眠はあらゆる健康のもとであると、再確認致しました。どうぞ、睡眠をたっぷりお取りくだ



さい。そして翌朝、復活した！ と思って目覚めることが出来ればよろしいですね。

以上で本日の講話は終了です。有難うございました。